Ⅳ．利用者利便向上に向けた取り組み等

【国土交通本省】

～ 「公益通報者保護制度」への対応 ～

近年における、食品の偽装事件や自動車のリコール隠し事件など、事業者内部の従業者等からの通報を契機として企業不祥事が明らかになる事例が相次いでいるが、内閣府の「国民生活審議会消費者政策部会」では、消費者利益の擁護を図るため、公益通報を理由とした解雇等の不利益な取扱から従業者を保護する制度（公益通報者保護制度）を整備することが必要であるとの報告を行った。

国土交通省としても、消費者保護を図るうえで今後重要な施策と認識しており、適宜、内閣府に対し当省としての意見等を申し入れてきた。具体的な法制化に向けての作業等については、今後内閣府を中心に関係各省庁で調整することになるが、行政相談窓口を抱える本省交通消費者行政課及び地方運輸局消費者行政課として、どの様に対応していくかは法案の動きをみつつ検討していくことになる。

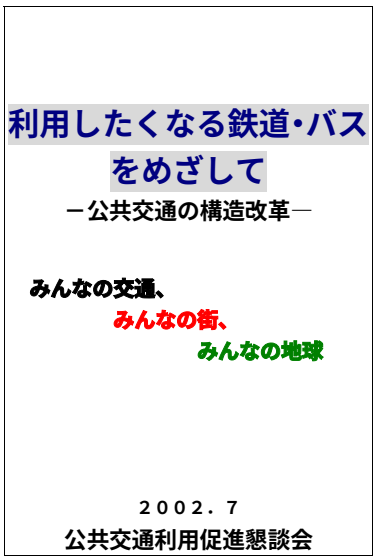
～ 公共交通利用促進懇談会報告「利用したくなる鉄道・バスをめざして」 ～

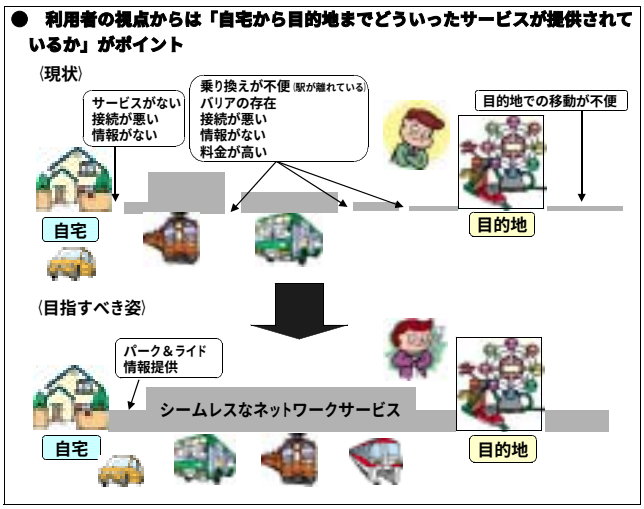
公共交通の利用促進のためには、供給側の構造改革を通じた公共交通のサービス自体の魅力を高めていくことが不可欠であるとの認識から、省内外の若手が中心になって利用促進に向けたポイントや具体の提案を行った。

「コスト主義から価値主義」への転換、「全体価値」を高めること、「真のシームレス化」の実現、そのための「ＩＣカードの早期導入」、また、各種施策の前提として「利用者の声が流通する仕組みづくり」が必要などを指摘している。

同報告は、交通事業者をはじめ地域の行政関係者などに配布され、大きな反響を呼んだ。

今後、地域で具体的な利用促進策を考えていく上での一つの手懸かりになればと願っている。





【北海道運輸局】

～第６回ＤＰＩ世界会議札幌大会に対する支援業務～

ＤＰＩ世界会議は、国内外の障害者と市民との交流を促進し、併せて、障害者に対する正しい理解の推進、バリアフリーでユニバーサルなまちづくりや環境の整備促進及びノーマライゼーション理念の普及を図ることを目的に開催されるもので、前回のメキシコ大会での決定に基づき、２００２年１０月、札幌市の北海道立総合体育センター「きたえーる」で、開催されることになりました。

大会期間中、参加した国と地域は１０９、参加者数は３，１１３名に達しました。

ＤＰＩ世界会議札幌大会の開催に向け、北海道運輸局は、札幌組織委員会が検討する移動、輸送、観光等が円滑に実施されるよう支援するため、北海道、札幌市、北海道開発局、東京航空局等の協議の場である関係機関連絡会議に参加し、バス事業者等の保有するリフト付バス、ノンステップバス等に係る情報の把握、提供、更には、大会期間中の移動・輸送に必要な車両の確保をバス事業者等に要請するとともに、鉄道利用者がいることも想定されることから、鉄道事業者に対しては職員の研修等についての要請を行いました。

ＤＰＩとは、「Disabled Peoples' International」の略で、日本語では「障害者インターナショナル」といいます。世界５３カ国の障害者が集まり、１９８１年に結成されました。現在は１２０カ国以上が加盟する障害種別を超えた世界最大の障害者ＮＧＯに成長しました。「障害者が生活しやすい社会はすべての人々にとっても住み良い社会」と考え、福祉、人権、環境、女性などの課題を中心に様々な活動をしています。

ＤＰＩ世界会議とは、ＤＰＩが世界の障害者に呼びかけ開催する国際会議で、４年に１度開催しています。世界中から様々な障害者が集い議論を交わすほか、開催国のノーマライゼーションの意識を高めることも効果としてあげられます。

〔ＤＰＩ世界会議札幌大会　実施報告書より〕

～大会スローガン～

なくそうバリアふやそう心のバリアフリー

【東北運輸局】

～「東北ネクストごーごーＮＥＴ」の開設

平成１４年度「公共交通活性化総合プログラム」において、バス等の公共交通利用情報の提供と充実化について検討した結果、青森、岩手、秋田の北東北３県の主要鉄道駅及び空港から、目的地迄のバス、タクシー等の二次交通アクセス情報をインターネットで検索できるシステム「**東北ネクストごーごーＮＥＴ**」を平成１５年４月２３日から開設しました。

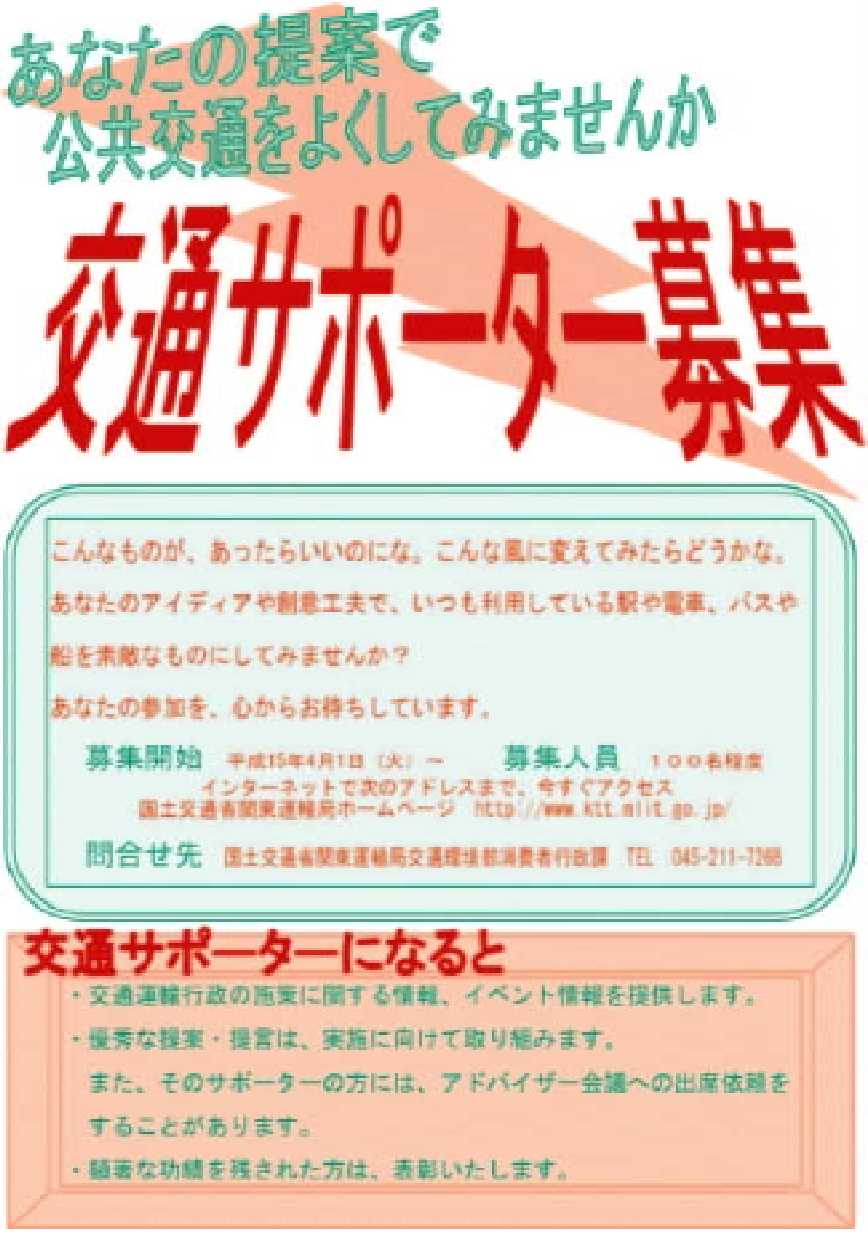
パソコンでのアクセス「http://gogonet.nihon-kankou.or.jp/」

携帯電話でのアクセス「http://gogonet.nihon-kankou.or.jp/i/」

【関東運輸局】　【九州運輸局】

～交通サポーター制度の導入～

【関東運輸局の交通サポーター募集パンフレット】



※　詳細については、各運輸局のホームページ（巻末にアドレスを掲載）参照

【北陸信越運輸局】

～コミュニティバス・乗合タクシーセミナーの開催（平成15年3月開催）～

北陸信越運輸局管内の各自治体や交通事業者等では、道路運送法や過疎地に対するバス補助制度の改革という状況の中、地域のニーズに対応した公共交通手段の確保を図るためコミュニティバスや乗合タクシーの導入を推進しています。

そこで、実際にコミュニティバスや乗合タクシー等を導入している交通事業者及び導入の支援をしている市町村の実務担当者から、その経験に即し、導入を成功させるための実践的なノウハウ、事業の現状、課題等を講演していただき、今後の取り組みの参考とするためのセミナーを、下記要領で開催しました。

今年度は富山市で富山県・石川県の自治体や交通事業者を対象に開催する予定です。

記

日　　時：平成１５年3月１８日（火）１３：３０～１６：３０
場　　所：万代シルバーホテル　４階「千歳の間」
対 象 者：新潟県内の市町村交通担当者及びバス、タクシー事業者等
内　　容：○「コミュニティバス・乗合タクシーについて」
　　北陸信越運輸局　自動車交通部　旅客課　課長補佐　小林　博
　　○「新潟県における公共交通手段確保の取り組み」
　　新潟県　総合政策部　交通政策課　副参事　野上　新平
　　～講　演～
　　○「松本市の市内循環バスについて」
　　講師　　青柳　正博　氏　(松本電気鉄道㈱　運輸統括部長)
　　○「魚津市コミュニティバス」
　　講師　　宮野　司憲　氏（魚津市　産業経済部　商工観光課　主任）
　　○「中山間地域のデマンドバス」
　　講師　　小池　聰光　氏　(東頸バス㈱　取締役支配人)
　　○「過疎型乗合タクシー」
　　講師　　星野　晃男　氏　(川口町　企画商工課　課長)
主　　催：北陸信越運輸局
そ の 他 ：詳細については、北陸信越運輸局ホームページ参照。

【中部運輸局】

～「交通や観光を地域とともに考える会（一日運輸局）」の開催～

中部運輸局では、市町村の交通・観光担当者を対象に地域の公共交通や観光振興にかかわる施策を説明し、地方公共団体がかかえる課題について、意見交換会を開催しています。

平成15年度は、管内の各運輸支局が主催し、愛知県、静岡県、岐阜県、三重県、福井県において、地域の公共交通や観光振興を中心に市町村とテーマを決め開催しました。

＜主なテーマ＞

(1)　公共交通活性化総合プログラムについて
(2)　交通空白地対策及びコミュニティバスの運行について
(3)　地域における観光振興策について
(4)　地方鉄道の活性化施策について
(5)　交通環境対策とバリアフリー化の推進について
(6)　海事振興策について

＜開催時期＞

平成15年５月下旬～６月下旬

＜開催場所＞

愛知県　名古屋市他１市　　静岡県　静岡市他２市
岐阜県　岐阜市他２市　　三重県　四日市市他１市
福井県　福井市他１市

【近畿運輸局】

～交通系ＩＣカードの多機能化に関するモデル実験の実施について～
我が国初の交通系ＩＣカードによる“電子マネー”モデル実験

（記者発表日：平成１５年２月４日）

近畿運輸局は、スルッとKANSAI協議会、大阪市、神戸市、大阪市の商店街、神戸市の観光施設等の協力のもと、交通系ICカードの多機能化に関するモデル実験を実施します。

同モデル実験は、スルッとＫＡＮＳＡＩが平成１５年度中の導入に向けて開発中の交通系ＩＣカードシステムを用いて、大阪市内の天神橋筋商店街、道頓堀商店会などの飲食・物販店等、神戸市、大阪市の観光施設、大阪水上バス、新神戸ロープウェー、駅前駐輪場、駅周辺の売店などおよそ２２０施設に専用端末を設置し、約８５０人のモニターに実際にこれらの店舗等で決済に交通系ＩＣカードを使っていただき、利便性等に関する調査を行うもので、同システムを店舗等での決済に利用する我が国初の取り組みとなります。

これら実験を踏まえ、交通系ＩＣカードの普及促進を図るとともに、交通系ＩＣカードを活用した観光振興への可能性などの検討を行います。

実　験　期　間：平成１５年３月１日から３月１４日まで

参加協力店舗：大阪市の商店、飲食店、神戸市の観光施設等
計　約２２０店舗

【参考】　交通系ＩＣカードについて

ＩＣカードは、プリペイドカードで使用されている磁気カードに比べ、多くの情報を取り込むことができることなどから、多様で高度な機能を付加することができます。

公共交通機関の乗車券としての交通系ＩＣカードは、かざすだけで自動改札機を通ることができるほか、多様で高度な運賃サービスの提供が可能となります。さらにその多機能性を活かして、商品購入、観光施設利用、公共的施設における利用（駅前駐輪場等）ポイントサービスなど、様々な機能を付加することが可能となります。

特に、交通系ＩＣカードは、通常のカードと同じ大きさで、定期券入れ等に入れたまま、店の方に渡すことなしに自身で専用端末にかざすだけで使用できるものであり、商店や飲食などでサインレスで使用できます。

近畿圏においても、平成１５年度中にＪＲ西日本及びスルッとＫＡＮＳＡＩのもとで阪急電鉄（株）及び京阪電気鉄道（株）が導入を予定しており、大阪市交通局も導入を検討しています。首都圏でＪＲ東日本が平成１３年１１月に導入した交通系ＩＣカード”Ｓｕｉｃａ”は、既に５００万枚以上発行されており、近畿圏でも、交通系ＩＣカードは急速に普及することが見込まれます。

【中国運輸局】

～「Ｍｏｖｉｎｇ－ｉ」プロジェクトの推進～

－「結節利便向上のためのバス・軌道・船舶等移動体への公共交通関係情報提供システムプロジェクト」－

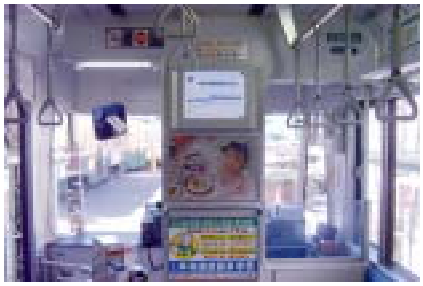
公共交通に関する利用者への情報提供については、ＩＴ化の進展等も踏まえ、また、利用者利便の向上等からも、ニーズが大である分野であり、地域における交通・運輸行政を担当する運輸局においても、積極的な取り組みが必要と考えられました。

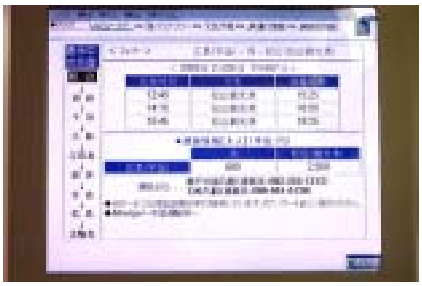
どこでも、だれでも、いつでも、わかりやすい乗り継ぎ情報等の公共交通関係情報を、簡単に入手できる「情報バリアフリー」のためのシステム構築を最終目標として、実証等を含み、車両等移動体への自動情報発信・受信システムの基本ソフトを作成することを目的として、公共交通関係の情報提供システムの管理者等関係行政機関、バス・軌道・船舶等交通関係者等で構成する検討会で構想の具体的検討を行い、平成15年３月５日から、駅から広島港を運行する広島電鉄㈱のグリーンライナーと広島バス㈱のバス及び広島港から松山港を運航する瀬戸内海汽船㈱のスーパージェット宮島に取り付けた液晶モニターに情報を提供し実証運用を行い、その後に評価を行ないました。

Ｍｏｖｉｎｇ－ｉの概要について

（『Ｍｏｖｉｎｇ-ｉ』ロゴとステッカー）

（『Ｍｏｖｉｎｇ-ｉ』モニター設置状況例）
広島電鉄株式会社（グリーンライナー　３９５１）





『Ｍｏｖｉｎｇ-ｉ』システムでは、

◎ＪＲ西日本の運行状況、広島港の旅客船の運航状況
◎ＪＲ広島駅の時刻情報
◎「みなとナビ」を活用した広島港からの行先別の時刻・運賃情報
◎広島駅からの広島空港リムジンバス、浜田・益田高速バスの時刻・運賃情報
◎広電の路線図
◎パセオカード情報
◎広島バスの広島駅～広島港までの路線図・時刻・運賃情報
◎瀬戸内海汽船の広島港の案内図
◎広島駅、広島港での車いす利用者の連絡電話番号
◎広島県警のひったくり注意のお知らせ

などの情報を提供しています。

～情報マップーー外客とバス・タクシー等乗務員のためのーーの作成～

平成１４年１０月２１日から釜山～広島間に国際定期フェリーが就航するのを契機に、韓国等諸外国からの旅行者の情報のバリアフリー化を促進するため、広島港を起点とした公共交通機関を中心とした情報マップを作成しました。

作成に際しては、広島県、広島市等の観光担当者、軌道、バス、タクシー、旅客船等交通関係者との協議の場を設けると共に、韓国広島領事館の協力を得て、協議会の場で韓国の留学生から広島市内交通の現状等について意見を聞くなどして、内容の充実に努めました。

この情報マップの特徴は、①韓国語、英語の２カ国語の他に日本語を併記することにより、海外からの旅行客とバス・タクシー等の乗務員との情報の共有化を図った。②簡単に指差しができるよう、公共交通機関、交通結節点、必要最小限の公共施設等の記載にとどめ、わかりやすい地図情報とした。③乗務員等が簡単な韓国語の会話ができるよう韓国語に併せカタカナの発音表記を載せたことなどにより、外客と乗務員が地図を介してお互いのコミュニケーションが図れるようにしたことです。

なお、部数は３万部作成し、広島国際フェリーポート等関係旅客施設で配布しました。

【九州運輸局】

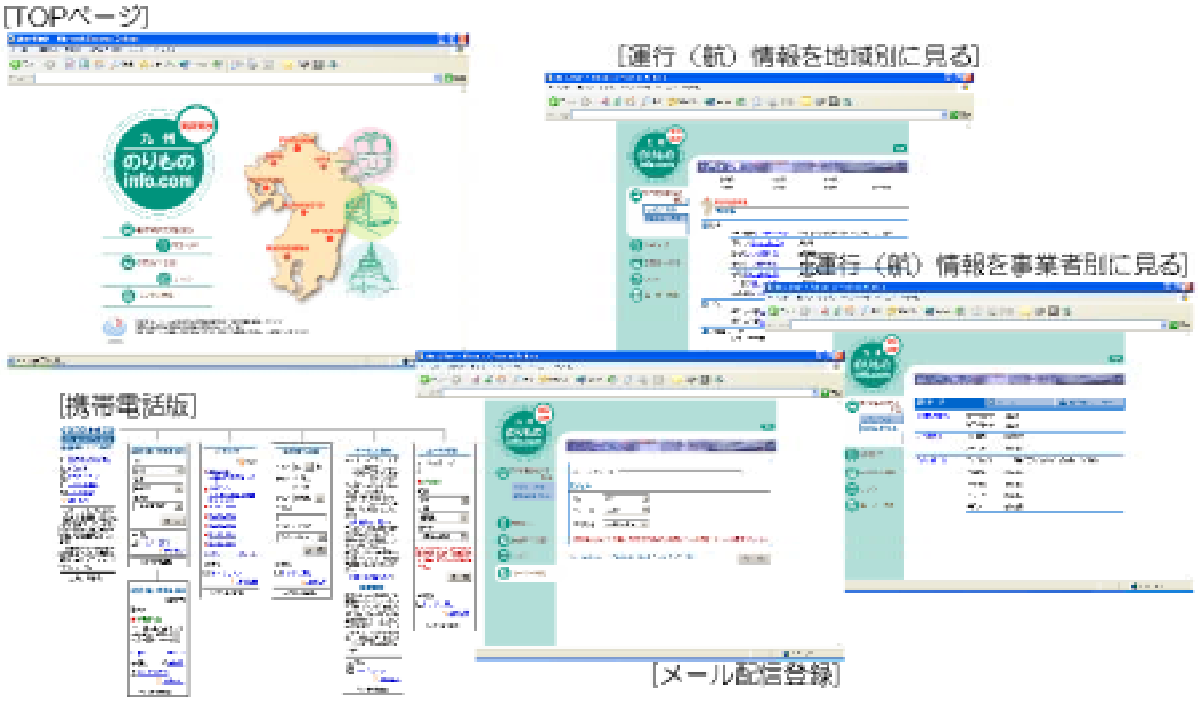
～ 公共交通機関別運行情報提供システム「九州のりものInfo.com」について ～

九州運輸局では、インターネット及び携帯電話により、九州管内の鉄道、バス及び旅客船の運行情報を一元化して提供するサービスを開始しました。これにより、利用者が各交通事業者のホームページを個別に開けることなく、九州管内の各交通機関の運行状況を一覧することができるようになりました。

また、ユーザー登録をすることにより特定の交通機関や事業者を限定して、登録情報に更新があった場合にメール配信サービスを受けることも可能となります。

インターネットのＵＲＬ　：http://www.norimono-info.com/
ｉモード　：http://www.norimono-info.com/i/
ｊ－ｓｋｙ　：http://www.norimono-info.com/j/
ＥＺｗｅｂ　：http://www.norimono-info.com/ez/

“九州のりものinfo.com” サイトイメージ



※画面は主なページです。その他に「お知らせ」、「リンク集」、「ご意見箱」がPC版、携帯電話版と用意されます。